

## 加濃式社会的ニコチン依存度調査票

### Kano Test for Social Nicotine Dependence (KTSND)

#### 加濃式社会的ニコチン依存度調査票(KTSND) (10問30点満点)

問1：タバコを吸うこと自体が病気である

問2：喫煙には文化がある

問3：タバコは嗜好品である

問4：喫煙する生活様式も尊重されてよい

問5：喫煙によって人生が豊かになる人もいる

問6：タバコには効用がある

問7：タバコにはストレスを解消する作用がある

問8：タバコは喫煙者の頭の働きを高める

問9：医者はタバコの害を騒ぎすぎる

問10：灰皿が置かれている場所は、喫煙できる場所である

(配点) 問1：思わない(3)、あまり思わない(2)、少しそう思う(1)、そう思う(0)

問2-9：思わない(0)、あまり思わない(1)、少しそう思う(2)、そう思う(3)

#### 社会的ニコチン依存

「喫煙を美化、正当化、合理化し、またその害を否定することにより、文化性を持つ嗜好として社会に根付いた行為と認知する心理状態」

\*KTSNDは社会的ニコチン依存を評価する簡便な質問票です。喫煙者にも非喫煙者にも使用できます。

#### KTSNDの有用性

1. 喫煙者：心理的ニコチン依存の評価 (例：禁煙外来)
2. 非喫煙者：喫煙や受動喫煙に対する寛大さの評価
3. 社会 (国、地域、年齢、職場、学校など)：

防煙教育・禁煙教育の評価、脱タバコ社会に対する態度の評価

職場や学校単位での喫煙への認識比較、喫煙への認識の国際比較